

英国金融政策（2025年6月）

市場予想通り政策金利を4.25%に据え置き

2025年6月20日

労働市場の軟化が明らか中、四半期毎の利下げを継続へ

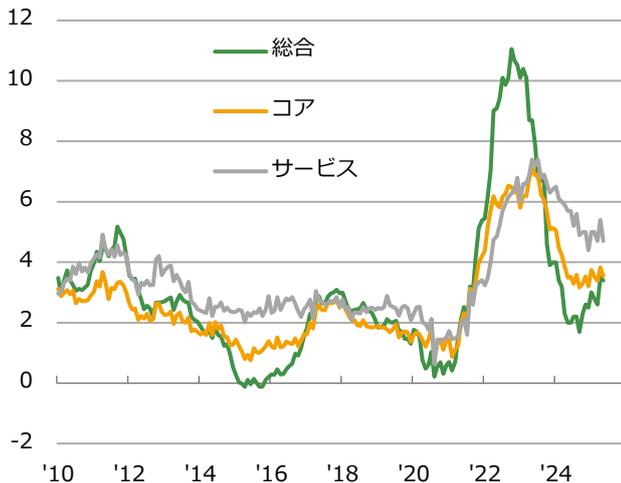
BOE（イングランド銀行）は6月18日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会で、政策金利を4.25%に据え置く決定をし、19日に発表しました。昨年8月の利下げ開始から四半期毎に（金融政策報告書が公表される会合で）各0.25%ptの利下げを実施しており、前回5月に利下げが実施されたことから、今回は据え置きが広く予想されていました。票決は6対3で、3名の委員が0.25%ptの利下げを支持しましたが、3名の副総裁のうち1名が利下げ票を投じたことが、若干のサプライズではありました。

声明文及び議事録では、GDPの基調は弱いままであることと、労働市場が緩和し続けていることが強調されました。実際、雇用者数、失業率、週平均賃金などの推移からは、労働市場の軟化が明らかです。一方で、消費者物価指数は総合、コアとも直近で前年同月比+3%台半ばと、目標値の2%を上回ったままで、過去のエネルギー価格の上昇の影響や公共料金の引き上げ等により年内はおおむね現在の伸び率のままで、来年に入り伸び率は鈍化するとBOEは想定しています。もっとも、米国の関税政策や中東情勢などに起因する不確実性の高さを理由に、インフレに係るリスクは上下双方向との見解も示しています。

今後の金融政策の方針として、各会合で適切な政策を決定するとしながらも、「金融引き締めの方針は解除へは漸進的で注意深い対応が適切」との表現を4会合連続で用いており、3%台前半と目される中立金利に達するまで、BOEはこれまで通り四半期毎の利下げを継続すると予想します。

英国の消費者物価指数

(前年同月比、%) (2010年1月～2025年5月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

(出所) 英国統計局

英国の金利と為替

(%) (2020年1月初～2025年6月19日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。